

各 位



会 社 名 東亜道路工業株式会社
代表者名 取締役社長 大 西 義 嗣
(コード番号 1882 東証第1部)
問合せ先 経理部長 野 田 雅 之
(TEL. 03 - 3405 - 1812)

新中期経営計画「Sustainable Plan 2010」の策定について

当社は、平成 23 年 3 月期を初年度とする新たな中期経営計画(平成 23 年 3 月期から平成 25 年 3 月期まで)を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

1. 策定の背景

前期(平成 22 年 3 月期)を最終年度とする前中期経営計画は、厳しい事業環境の中、売上計画は未達となるものの、利益面では計画を達成できることとなりました。また、利益の蓄積に加えて、不採算事業の見直しも予定通り進み、財務体質の強化も果たすことができる見込みとなっております。

しかしながら、サブプライムローンに端を発した金融情勢の悪化とその後の実体経済への影響、また公共事業予算の大幅な削減および民間設備投資の低迷など、建設業界を取り巻く環境は、大きく変化してきています。

当社は、こうした現状と今後予想される受注環境の変化を見据え、厳しい競争環境を勝ち抜いていくため、新中期経営計画『Sustainable Plan 2010』を策定いたしました。そして創業 80 年を迎える節目の年度に、更なる企業価値の向上に向けて、全社を挙げて取り組んでまいります。

2. 概要

① ネーミング

Sustainable ～ 英語で「持続可能な」という意味です。

企業は、CSRを推進することで、社会的な信頼が向上し、市場からも高い評価を得、優秀な人材も集まることで、持続できる優良な存在となります。

今回の新中期経営計画は、困難な時代の中で、「全社を挙げて、社会に必要とされ、永続的に存続できる企業となることを目指す」という決意を強くこめた計画です。

② ビジョン(目指す姿)

高い技術力、豊富な工法、高い製品開発力により競争優位性を確固たるものとし、環境にも配慮した質の高い社会資本の整備拡充に貢献していくことを目指します。

③ 目標とする連結経営指標(計画最終年度)

売 上 高	970億円
経 常 利 益	19億円
自 己 資 本	193億円
D / E レ シ オ	0.9倍以下

*D/Eレシオ=有利子負債/自己資本

3. 基本方針

- ① マーケット縮小の影響を最小限に抑える諸施策の早期実行
- ② 環境の変化に即応できる柔軟な経営体質の構築
- ③ 経営資源の「選択と集中」による安定した収益基盤の構築
- ④ 研修制度の充実やOJTを通じた人材の育成
- ⑤ グループとしての技術と情報の共有化、シナジー効果発現による収益力、総合力の強化
- ⑥ CSR(社会的責任)経営の推進

以 上